

番号	科目名	単位数	学年	学科(系列・類型)	必修・選択
101 117	現代の国語	2	1	総合学科 工業科	必修

履修条件、選択上の留意事項等

科目の目標 言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。 (2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 (3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

評価の観点とその趣旨	
① 知識・技能	実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けている。
② 思考・判断・表現	「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。
③ 主体的に学習に取り組む態度	言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもとうとしている。
評価の方法	
学習内容に関心を持ち授業での自身の考えをまとめ発表する意欲、課題を見つけ解決に向けて取り組む態度等を多面的に評価する。課題の達成状況により、知識・技術の習得状況や思考・判断・表現力について評価する。	

学習計画						
月	単元 (項目)	題材 (使用教科書項目)	単元や題材など内容のまとまりごとの学習目標	評価の観点		
				①	②	③
4	新しい出会い	ナマケモノになる(辻信一)	語句の量を増やし、語彙を豊かにしている。	○		
			内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握することができる。		○	
			反論を示すことによって自分の主張の正しさを補強する推論の仕方を理解し、粘り強く論理の展開を把握しようとする。			○
	書いて伝える	書き方の基礎レッスン	表記・表現の基本ルールを理解することができる。	○		
			進んで表記・表現の基本ルールを理解し、正確で分かりやすい文を書くこととする。			○
			接続表現の種類や用法を理解し、適切な接続表現を選ぼうとする。			○
5	生活の中の表現	図書委員会のポスターの掲示内容を検討する	文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容を解釈する方法を学ぶことができる。		○	
			異なる形式で書かれた複数の文章を粘り強く読み、理解したことを学習課題に沿ってまとめようとする。			○
6	言葉が開く世界	言語としてのピクトグラム(本田弘之)	例示などの修辞を理解することができる。	○		
			ピクトグラムが持つ「言語」としての機能を理解し、言語表現の多様性について考えを深めることができる。		○	
			学習課題に沿ってピクトグラムの問題点や修正案を考え、積極的に発表しようとする。			○
	書いて伝える	身近な製品の取扱説明書を作成する。	情報を相手にわかりやすく説明する方法を理解することができる。		○	
			書いた説明書を進んで批評し合い、批評を踏まえて文章の構成・展開や表現を工夫する。			○
7	話して伝える	話し方の工夫	話し言葉と書き言葉の特徴を理解することができる。	○		
			相手により伝わりやすい表現方法を理解することができる。		○	
			積極的に伝わりやすい表現を考え、学習課題に沿って説明や発表をしようとする。			○

月	単元 (項目)	題材 (使用教科書項目)	単元や題材など内容のまとまりごとの学習目標	評価の観点		
				①	②	③
7	書いて伝える	実用的な手紙文の書き方	実用的な手紙文として、依頼文と案内文の書き方を理解し、実践することができる。		○	
			教科書の例を参考に、説明や表現の仕方を工夫して、積極的に依頼文や案内文を書こうとする。			○
9	論理分析	【対比】 「間」の感覚（高階秀爾）	主張と論拠、個別と一般化など、情報と情報との関係を理解することができる。	○		
			文章を分析的に読み、対比構造を用いた論理の展開について理解することができる。		○	
			情報と情報を対比させながら展開する評論を粘り強く読み、学習課題に沿って論理の展開を分析しようとする。			○
10	話して伝える	待遇表現	敬語表現を意識した言葉遣いを理解することができる。	○		
			相手や場に応じた表現が選択できる。		○	
			積極的に敬語表現を理解し、学習課題に沿って使おうとする。			○
10	話して伝える	相手に伝わる案内をする	相手や場の状況を押さえて案内することができる。		○	
			進んで表現や話し方を工夫し、今までの学習を生かして効果的に話そうとする。			○
11	書いて伝える	自校の生徒の生活実態を調査する	相手と目的に応じた報告文のあり方を理解することができる。		○	
			教科書の例を参考に、説明や表現の仕方を工夫して、積極的に報告文を書こうとする。			○
11	社会と人間	人はなぜ仕事をするのか（内田樹）	主張と論拠、個別と一般化など、情報と情報との関係を理解することができる。	○		
			本文で使われている「パス」という言葉の意味を考え、筆者が述べる仕事の本質について考察することができる。		○	
			本文を読んで働くことに対する考えが深まったかどうかを進んで振り返り、根拠をあげて説明しようとする。			○
12	話して伝える	理想の修学旅行をプレゼンする	今までの学習を生かして相手・目的・場面を考慮し、積極的にプレゼンテーションを行おうとする。		○	
			進んで表現や話し方を工夫し、今までの学習を生かして効果的に話そうとする。			○
12	書いて伝える	地域の魅力を紹介する	必要な情報や資料を収集・整理し、わかりやすい紹介文を書くために活用する方法を理解することができる。		○	
			目的に応じて題材を決め、集めた情報の妥当性や信頼性を粘り強く吟味する。			○
1	論理分析	【具体と抽象】 日本語は世界をこのように捉える（小浜逸郎）	主張と論拠、個別と一般化など、情報と情報との関係を理解することができる。	○		
			文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、文章の構成や論理の展開を的確に捉え、要旨を把握することができる。		○	
			具体例を示しながら展開する評論を粘り強く読み、学習課題に沿って論理の展開を分析しようとする。			○
2	話して伝える	合意形成のための話し合いを行う	論点を共有し、考えを広げたり深めたりしながら、話し合いを実践することができる。		○	
			今までの学習を生かして相手・目的・場面を考慮し、話し合いによって結論を出そうとする。			○
2	書いて伝える	社会に対する意見文を書く	意見文とはどういうものを理解することができる。		○	
			意見文の書き方を理解し、実践し、評価することができる。		○	
			書いた意見文を進んで批評し合い、批評を踏まえて論理の展開や表現の仕方を工夫しようとする。			○